

重点項目（特に増客効果大きいと考えられる項目）

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
総合企画局	5	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	山ノ内浄水場跡地について「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき大学を中核に複合的な用途の施設を誘導し、本市西部地域はもとより市全体の活性化や地下鉄増客に資する活用を図るための取組を推進する。	○平成27年度 (南側) ・京都学園大学京都太秦キャンパスの開設(約1,200人の学生・教職員等が通勤、通学)(4月) (北側) ・契約締結・用地の引渡し(7月) ・地区計画変更の決定告示(12月) ○平成28年度 (南側) ・京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) ・調理・製菓の専門学校及び病院の第1期(1,400人規模)の整備等について協議・調整 ○平成29年度 (南側) ・京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) ・調理・製菓の専門学校及び病院の第1期(1,400人規模)の整備等について協議・調整 ・病院の第1期(200人規模)の開設 ○平成30年度 (南側) ・京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) ・調理・製菓の専門学校の第1期(1,200人規模)の開設
	9	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	植物園や府立大学、総合資料館等さまざまな文化施設が集積する北山地域(北山文化環境ゾーン)の整備を行う京都府と協調し、京都コンサートホールや商店街、地元の関係団体等とも連携した地下鉄北山駅周辺地域の活性化に取り組むことで、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	○平成27年度 ・府市協調による取組の推進 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」において、「北山月間～10月は北山がおもしろい!～」イベントスタンプラリーを開催(9月27日～10月25日) 参加者数:420人 ○平成28年度 ・府市協調による取組の推進 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画
	10	東部クリーンセンターの跡地活用の検討	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増客の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。	○平成27年度 跡地活用事業の検討 ○平成28年度 跡地活用事業の検討
	11	岡崎地域活性化ビジョンの推進	平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」に掲げる将来像の1つである「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」づくりに向け、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくり、エリア全体での情報発信など、地下鉄・市バスの利用促進につながる賑わい創出に取り組む。	○平成27年度 ・地域連携型魅力創出事業の実施 ・岡崎の地域ガイド拠点「岡崎・市電コンシェルジュ」の活用等による岡崎エリアの総合的な案内・情報発信の強化 ○平成28年度 ・「京の七夕」と連携したライトアップイベントの開催(8月)
	12	京都駅西部エリアの活性化	平成26年度策定の「京都駅西部エリア活性化将来構想」に基づき、梅小路公園をはじめ、多彩な地域資源が集積する京都駅西部エリアの活性化を推進する。エリア内の施設・団体、事業者等、多様な地域主体との連携のもと、様々な媒体による地域の魅力情報の発信や回遊性向上に資する取組、新たな集客につながるイベント等を実施し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	○平成27年度 ・京都駅西部エリア活性化将来構想の推進 ・京都駅西部エリアまちづくり協議会の設立 ・「太陽と星空のサーカス」(10月)参加者数:約5万人 ○平成28年度 ・エリアの魅力情報の発信、イベント開催等
	14	国立京都国際会館・多目的ホールへの京都らしい設え実施と拡充整備の促進	国において整備が進められている多目的ホール(2,500人規模)の30年度の供用開始を踏まえ、5,000人規模への更なる拡充整備を早期に実現するため、国に対し積極的に要望する。また、多目的ホールの顔ともいえるロビー、控室等の内装、調度品等に京都らしい設えを施すことにより、日本文化を発信する。	○平成27年度 ・国家予算等に関する要望・提案の実施(6月,11月) ○平成28年度 ・国家予算等に関する要望・提案の実施(6月) ・京都らしい調度・備品の制作に係る具体的な検討(国の動き) ○平成26～27年度 ・多目的ホール(2500人規模)の設計 ○平成27～30年度 ・多目的ホールの工事

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
文化市民局	13	京都会館再整備事業	ロームシアター京都(京都会館)は、文化芸術活動の拠点となるとともに岡崎地域の活性化にも寄与するよう、再整備を行い、平成28年1月にリニューアルオープンした。ホールの舞台機能が大幅に向上した他、新しい憩いの場となるカフェなど、賑わいスペースを設置した。平成28年度は、12月まで多彩なオープニング事業を実施する。	○平成27年度 竣工(8月)、プレ事業の実施(9月12日 小澤征爾音楽塾二条城特別演奏会 参加者数400人)、開館(1月10日)、オープニング事業の実施(1月～) ○平成28年度 オープニング事業の実施(～12月) ○平成29年度以降 文化芸術事業の実施
	23	東アジア文化都市2017の開催	「東アジア文化都市」は、日・中・韓の3箇国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、様々な文化の国際発信力を高めるとともに、観光や国際交流などの振興・発展を目的として開催している。 京都市は平成29年(2017年)の開催候補都市に決定している。	○平成27年度 ・開催準備 ・準備委員会設立 ○平成28年度 ・実行委員会設立 ・プレ事業 ・オープニング事業
	24	大政奉還150周年記念プロジェクト	平成29年は、二条城を舞台にした大政奉還から150周年にあたり、本市を中心に関係各都市とも連携して、広く全国に向けてアピールするための記念事業を実施する。	○平成27年度 ・開催準備 ○平成28年度 ・イベント ・オープニング事業(記念シンポジウム) ・関係都市との連携事業(ミュージアム・スタンプラリー等)
	25	伊藤若冲生誕300年記念事業	平成28年は、江戸時代に京都・錦市場に生まれ活躍した絵師・伊藤若冲の生誕300年を迎えることから、美術館、寺院、商店街等と連携し、多彩な取組を展開する。	○平成27年度 ・若冲の魅力語る懇話会 ○平成28年度 ・記念展覧会(10月～) ・シンポジウム(7月、10月) ・ワークショップ(8月)
	28	美術館における展覧会の開催	美術館主催・共催の魅力ある展覧会を開催するとともに、市バス・地下鉄を利用した交通案内を実施し、その利用促進を図る。(広報用チラシ及び案内人による案内の両面にて努める。)	○平成27年度 ・ルーヴル美術館展((6/16～9/27) ・マグリット展(7/11～10/12) ・フェルメールとレンブラント展(10/24～1/5) ・モネ展(3/1～5/8) ・ルノワール展(3/19～6/5) 27年度の入場者数1,286,020人※暫定値(内海外展901,510人) ○平成28年度 ・モネ展(～5/8) ・ルノワール展(～6/5) ・ダリ展(7/1～9/4) ・若冲の真実展(10/4～12/4)
	29	美術館再整備事業	京都市美術館は、開館以来、日本の美術・文化振興に大きな役割を果たしてきた。しかしながら、美術館を取り巻く状況は時代とともに、変化しており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。 こうした現状を踏まえ、京都市美術館が今後とも、国内外を問わず多くの人々を魅了し、世界に誇れる美術館となるよう、求められる役割や目指すべき美術館像を明らかにするとともに、時代の変化に適応した機能・施設の充実等について検討を行っていく。	○平成27年度 ・本館及び新館の基本設計(8月～) ・同地の埋蔵文化財調査 ○平成28年度 ・本館及び新館の実施設計 ・同地の埋蔵文化財調査の実施
31	新京都市動物園構想の推進	平成21年11月に策定した新「京都市動物園構想」に基づき、「心の教育」と「環境学習」を柱に生涯学習施設として、子どもから高齢者まですべての世代に「喜び・安らぎ・癒し」を与え、「感動・交流・学習」する施設として27年度末まで再整備、動物舎、利便施設等の新設、園路整備等を行う。動物園整備の進捗に応じて集客増が図れるとともに、その効果として地下鉄蹴上駅、東山駅の利用者増も見込める。	○平成27年度 ・ソウの森(7月)、京都の森(9月)、学習・利便施設(7月)のオープン 来園者数 523,107人	

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
文化市民局	33	元離宮二条城におけるイベントの開催及びアクセス紹介	元離宮二条城において、魅力あるイベントを開催するとともに、市民しんぶん等において、市バス・地下鉄を利用した来城方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。 また、元離宮二条城出口に市営地下鉄二条城前駅への進路案内板を常時設置しており、引き続き地下鉄の利用促進に努める。	○平成27年度 ・「築城400年記念 展示・収蔵館」展(年間4回) ・二条城まつり(10月17日～12月14日) ・アートアクアリウム城(10月23日～12月14日) ・ライトアップ(3月20日～4月12日) 入城者数 1,738,815人(4月～3月) ○平成28年度 ・「築城400年記念 展示・収蔵館」展(年間4回) ・二条城まつり<時期未定> ・ライトアップ2016(3月25日～4月17日)
	38	京都マラソンの開催	市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。	○平成27年度 平成28年2月21日開催 出走者数: 16,000人 携わった人数: 53万4千人 ○平成28年度 平成29年2月19日開催予定
産業観光局	6	KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience)	京都が持つ、マンガ・アニメ、映画・映像、ゲーム等のコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、これらのコンテンツ産業を支える人材育成・人材交流を図ることを目的としたイベントを実施する。	○平成27年度 ・京都国際マンガ・アニメフェア来場者数: 36,951人 オフィシャルイベント総来場者: 91,367人 ○平成28年度 「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催
	8	「修学旅行1dayチケット」のPRと発売	修学旅行生の誘致と市バス・地下鉄の新規旅客獲得を一体的に行うために、優待施設で特典を受けられる「修学旅行パスポート」と同様の機能を持つ「修学旅行1dayチケット」の販売促進に向けたPRを行う。	○平成27年度 販売部数: 89,861枚
	13	京の七夕	「一年に一度、願いごとをする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに旧暦の七夕に開催。堀川、鴨川を竹や光で幻想的に演出し、京都ならではの七夕を表現する。 平成28年度は、岡崎や梅小路会場などの他会場も加え、市内各地で実施。	○平成27年度 開催期間: 8月1日～10日 総来場者数 76万2千人 ※堀川会場のみ 32万1千人 ○平成28年度 開催期間: 8月1日～15日
	14	東山花灯路	東山地域の寺院・神社をはじめとする歴史的な文化遺産、白壁や石畳、門前町などのまち並みを生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、春の訪れを魅力的に表現する。	○平成27年度 開催期間: 平成28年3月12日～21日 総来場者数: 116万5千人 ○平成28年度 開催期間: 平成29年3月3日～12日(予定)
	15	嵐山花灯路	嵯峨・嵐山地域の自然、水辺空間、竹林や歴史的な文化遺産、景観など地理的諸条件を生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、初冬の季節感を魅力的に表現する。	○平成27年度 開催期間: 平成27年12月11日～20日 総来場者数: 139万3千人 ○平成28年度 開催期間: 平成28年12月9日～18日(予定)

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
保健福祉局	21	健康づくりフェア(仮称)	市民全体で健康づくりの機運を高めていくため、「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた取組のイベントを開催する。	○平成27年度 ・健康長寿のまち・京都キックオフイベントの開催(11月29日) ・参加人数:約10,000人 ○平成28年度 ・イベントの開催(秋頃予定)
	22	「健康長寿のまち・京都市民会議」正式発足記念イベント	「健康長寿のまち・京都推進プロジェクト」の取組を広く市民に周知し、また取組を盛り上げていく機運を醸成することを目的に、「健康長寿のまち・京都市民会議」の正式発足を記念したイベントを開催する。	○平成28年度 ・6月4日開催予定
都市計画局	3	空き家対策推進事業	「地域の空き家相談員」等による総合的なコンサルティングを行うほか、地域連携型空き家流通促進事業や支援制度の創設等により、空き家所有者の活用意向を引き出すとともに、空き家の発生の予防や適正管理の推進等、空き家対策を総合的に推進する。	○平成27年度 ・空き家活用・流通支援等補助金制度の実施(91件) ○平成28年度 ・空き家等対策計画の策定
	8	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている土地利用の方針に基づき、エコ・コンパクトな都市を実現するために、地下鉄をはじめとする公共交通拠点周辺における都市機能の集積や充実を目的として、「地域地区の見直しに関する方針」を検討したうえで用途地域等の見直しを行う。	○平成27年度 ・都市計画マスタープランの推進 ・用途地域等の都市計画の見直しを行う。(公聴会の開催(6月)、縦覧・意見書の受付(8月)) ・都市計画審議会への付議(10月) ・都市計画決定・告示(12月) ○平成28年度 ・都市計画マスタープランの推進 ・用途地域等の都市計画の見直しを行う ・魅力あるまちづくりを目指した持続可能な都市の構築の検討
	9	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議を設置し、推進を図る。	○平成27年度 ・「歩くまち・京都」推進本部会議の開催(12月、3月) ・「歩くまち・京都」推進会議の開催(6月) ・戦略の効果検証のための調査・分析 ○平成28年度 ・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催 ・効果検証のための調査・分析
	12	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区(四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地区)を中心とした「まちなか」において、四条通の歩道拡幅や公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保と賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進する。	○平成27年度 ・四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた工事完成(10月末) ○平成28年度以降 ・「まちなか」において人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進
	18	崇仁地域のまちづくり	「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告書を踏まえ、住宅地区改良事業を早期完了させるため、土地区画整理事業との合併施行を推進するとともに、「創造・交流・賑わいのまち」の実現に向けた、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学などの多様な主体の参画によるまちづくりを推進する。	○平成27年度 住宅地区改良事業 ・崇仁市営住宅53棟しゅん工 ・崇仁市営住宅(第21~27号棟)建替基本計画策定 ○平成28年度 土地区画整理事業 ・取組の推進 住宅地区改良事業 ・更新住宅実施設計 ・団地再生計画及び土地利用計画策定に向けた基礎調査(崇仁南部)
20	三条京阪駅周辺地域の活性化	都市計画マスタープランにおいて、商業・業務機能の立地誘導、多様な都市機能の集積を図る地域として位置付けている三条京阪駅周辺について、地下鉄をはじめ交通至便な立地環境にある地域のポテンシャルを最大限に生かした土地活用となるよう、三条鴨東地区の改良事業計画の見直しも含め、魅力あるまちづくりを進める。	○平成27年度 ・住宅地区改良事業に基づく買収交渉等	

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
建設局	4	京都駅八条口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の八条口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点広場(デッキ)送迎ゾーン及びタクシープール整備工事着手(4月) ・道路整備工事の着手(6月) ・駅正面の拠点広場デッキ(みやこ夢テラス)完成(プレオープン)(3月) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場整備工事完成予定
	12	高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	高瀬川は、石積護岸の老朽化が著しく、水枯れがたびたび発生し、良好な水辺環境の保全が困難な状況になったため、護岸の補修工事を実施する。実施に際しては、高瀬川の景観に重要な役割を果たしている街路樹のサクラやヤナギ等に配慮した整備を行うとともに、沿川における他事業や地域との連携も含め、周辺一帯の魅力ある水辺づくりを目指す。	<p>○平成26年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事(三条通～車屋橋) ・高瀬川開削400周年の地元イベント開催 <p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修工事(車屋橋～備前島橋) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修工事(備前島橋～四条通)
北区	3	柘野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「柘野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柘野地域における公共交通利用促進会議の開催 ・地域イベントにおける啓発活動 ・市バス特37号沿線おでかけマップ(500枚)・ニュースレターの作成・配布(10月3月発行3,000部) ・お試し乗車券配布(427枚) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柘野地域における公共交通利用促進会議の開催 ・地域イベントにおける啓発活動 ・ニュースレターの作成・配布
山科区	4	山科・感動ツーリズム推進事業	地下鉄東西線の乗客増と山科地域の観光活性化を図るため、地元住民と行政、交通事業者等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げを実施。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山科の観光資源・地域資源をPRするため、効果的な広報を実施する。(リーフレット、ポスター作成) 山科散歩秋発行部数: 6,000部
伏見区	10	久我・久我の杜・羽東師地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策(モビリティ・マネジメント)を、久我・久我の杜・羽東師地域において実施する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市バスガイドブックの全戸配布(7,800部) ・地域のイベントにおけるガイドブック配布(1回) ・神川出張所において、近隣路線の主要なバス停ごとに時刻表を作成し、待合いロビーにて配架。

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
交通局	11	駅ナカビジネスの積極的な展開	駅構内の配置を見直すことにより、活用可能な公共空間を最大限創出するとともに、民間のノウハウも活用して積極的に取組を展開する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コトチカ京都の拡充、コトチカ四条再公募の出店者募集受付(8月) ・今出川駅構内店舗の開業(11月) ・コトチカ御池の拡充(4店舗の新規開業)(1月) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コトチカ京都の拡充工事、開業予定(平成29年春頃) ・コトチカ北大路の出店者募集
	15	区役所・支所等と連携した取組の推進	地下鉄5万人の増客目標の達成に向け、区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。また、各局区等のイベントにブース出展することにより、地下鉄の利用を促進する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区役所訪問の実施(6月) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展(18件) ・地下鉄駅発! 京都エリアウォーク 京都あるく第二弾「北山から歩く」との連携(10月24日実施、北区・左京区) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区役所訪問の実施(6月予定) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展 ・「地下鉄開業35周年・国立京都国際会館開館50周年記念イベント」との連携(7月30日実施予定、左京区)
	19	沿線大学との連携による地下鉄利用促進策の推進	沿線大学との連携により、地下鉄・市バスなどの公共交通の利用促進や駅周辺地域の活性化を促進する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安女学院大学 ・駅ごとの情報誌「キュンキュン京都」の発行(6回) ・「1日学生駅長」の活動(2月) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安女学院大学 ・駅ごとの情報誌「キュンキュン京都」の発行(年間6回予定) ・「1日学生駅長」の活動(4月)
	24	地下鉄駅発! 京都エリアウォーク 京都あるくの実施	地下鉄の増客と駅周辺地域の魅力を伝えることを目的に、地下鉄駅を起点としたウォーキングイベントを実施する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2弾「北山から歩く」を実施(平成27年10月24日) 参加者数: 202名 <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋～冬に実施予定
	25	地下鉄開業35周年・国際会館開館50周年記念イベントの実施	地下鉄開業35周年と国立京都国際会館開館50周年を迎えるのを記念して、地下鉄の増客や沿線地域の活性化につながる事業を、駅周辺地域の団体との連携で実施する。	<p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時: 7月30日(土) 会場: 国立京都国際会館イベントホール
	31	「太秦萌」を活用した地下鉄利用促進に向けたPR活動	地下鉄5万人増客応援キャラクターをポスターやチラシ、グッズ、ノベルティなどに活用することで、地下鉄の利用促進を図るPR活動を展開する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRポスターの発行(8月、10月、1月) ・グッズの製作、販売 ・アニメCMの配信 <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメ動画の製作・配信など、キャラクターの二次創作を通じた、地下鉄の利用促進に向けた更なるPR
	39	「地下鉄道しるべ」事業の推進	駅までの経路等を示す案内表示の看板やパネル、ラミネートシート等を交通局が作成し、駅周辺の商店等にご協力いただき無償で設置・掲出する。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 二条城前駅にて2店舗(6月～)、東山駅にて1施設(7月～)に設置
	50	海外からのお客様へのサービス向上	急増する外国人観光客が、市バス・地下鉄を御利用される際の利便性を向上させるため、コミュニケーションツールや観光マップの充実等に取り組む。	<p>○平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バス観光マップ「バスナビ」(中国語・韓国語版)の配布(10月下旬～) ・市バス全車に4か国語対応コミュニケーションボードの配備(11月中旬～) ・地下鉄全駅などに翻訳機能付タブレットを配備(3月～) <p>○平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4箇国語表示機能付き券売機、精算機の導入(27～28年で全駅に設置)